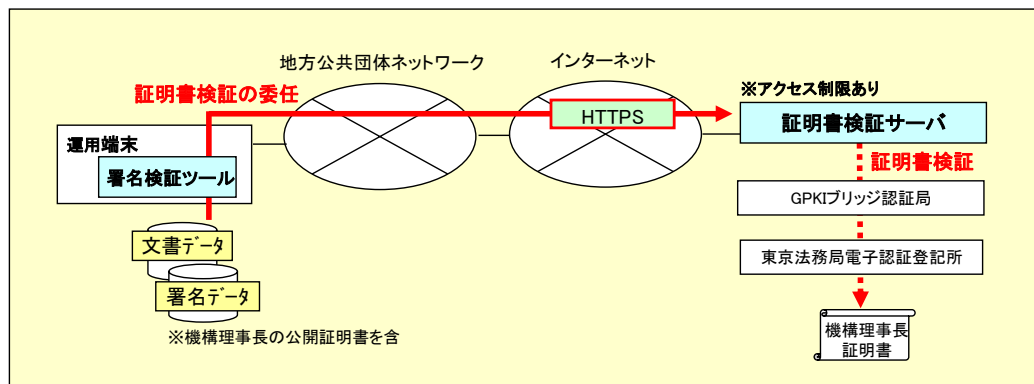


LGPKI証明書検証サーバに申請するIPアドレス

【LGPKI証明書検証サーバ利用申請書に関するお問い合わせ先】
<http://center.lgwan.jp/use/index.html#LGPKI4>
 ※上記サイトはLGWAN参加団体のみが参照できるサイトです。

＜概要(背景)＞

機構発行の文書データ・署名データは、電子申請・通知システムからダウンロードして入手致しますが、この署名データの検証には専用アプリケーション『署名・検証ツール』を使用して頂きます。
 署名・検証ツールは、**機構理事長証明書の検証を『証明書検証サーバ』に委任**しており、証明書検証サーバにHTTPS通信でアクセスする必要があります。
 証明書検証サーバにはアクセス制限が施されており、**地方公共団体からのアクセス許可の申請が必要**となります。

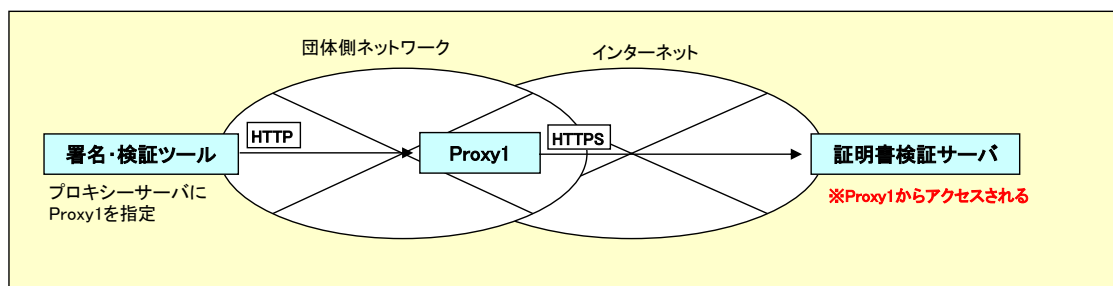


＜申請するIPアドレスのポイント＞

アクセス制限はグローバルIPアドレスで行われているため、**アクセス許可の申請はグローバルIPアドレス**で行います。
 運用端末(署名・検証ツール)からのアクセスが、**証明書検証サーバから見て、どのようなIPアドレスからのアクセスとなるかを団体側ネットワーク管理部門と調整/確認し、そのグローバルIPアドレスで申請する必要があります。**
 (発生する通信はHTTPSプロトコルですので、**プロキシサーバ経由のアクセスが可能です。**)

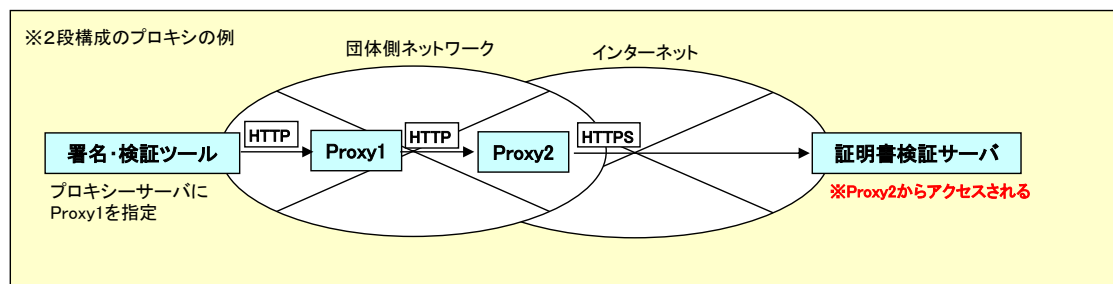
＜申請するIPアドレスの記入例＞

■プロキシサーバ経由でアクセスする基本的な構成の場合



団体側ネットワークに存在するProxy1を使用するケースでは、**Proxy1のインターネット上でのアドレスを記入して下さい。**
 Proxy1が複数台で運用されている場合は、複数のアドレスを;(セミコロン)で区切って記入して下さい。
 ※署名・検証ツールの設定では、**プロキシサーバにProxy1を指定することになります。**

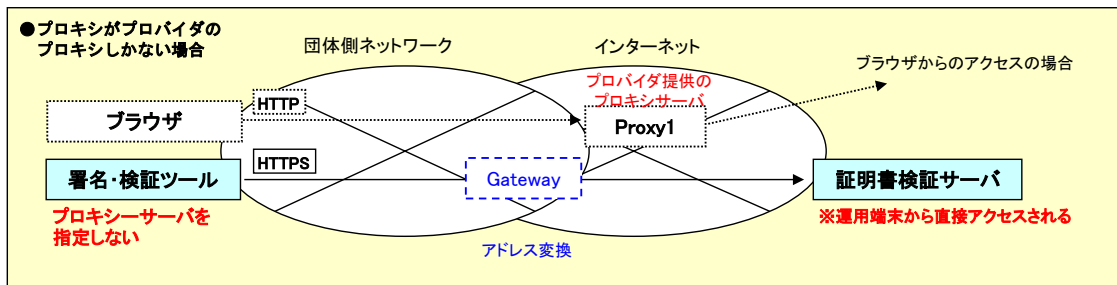
■プロキシサーバが多段構成の場合



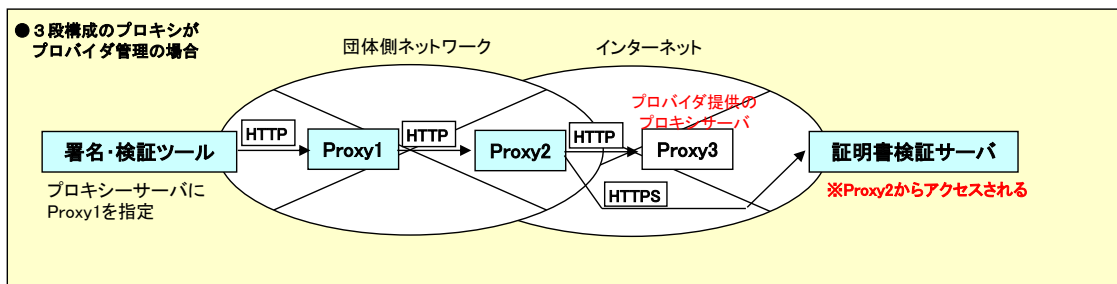
プロキシサーバが多段構成である場合、**最後のプロキシサーバ(上記例ではProxy2)のインターネット上でのアドレスを記入して下さい。**
 Proxy2が複数台で運用されている場合は、複数のアドレスを;(セミコロン)で区切って記入して下さい。
 ※署名・検証ツールの設定では、**プロキシサーバにProxy1を指定することになります。**

■プロキシサーバがプロバイダのプロキシサーバである場合

プロバイダのプロキシサーバを使用している場合、IPアドレスはプロバイダ管理であり、通知なく変更される可能性もあります。また、証明書検証サーバのアクセス制限の観点からも、このアドレスを申請するのは問題がございます。従いまして、**プロバイダのプロキシサーバでは申請を行わない**ようお願い申し上げます。

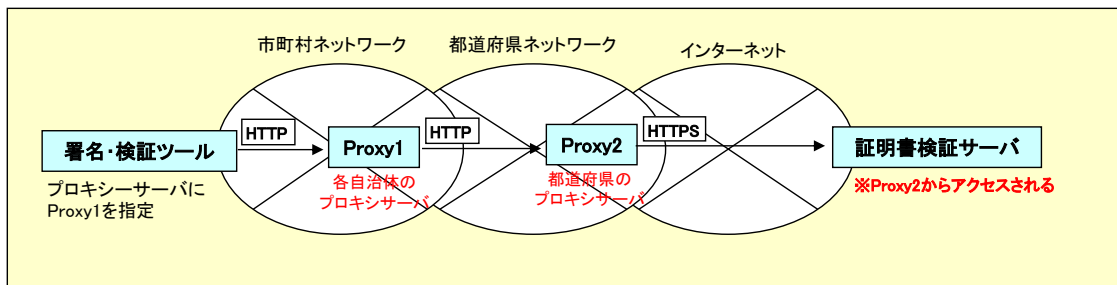


ブラウザのプロキシ設定とは異なり、(署名・検証ツールが動作する)運用端末からプロキシサーバを介さず、直接接続を行わせます。このケースではプロキシサーバを介しませんので、(アドレス変換された)運用端末のインターネット上でのアドレスを記入して下さい。
 ※署名・検証ツールの設定では、プロキシサーバを指定しないで下さい。



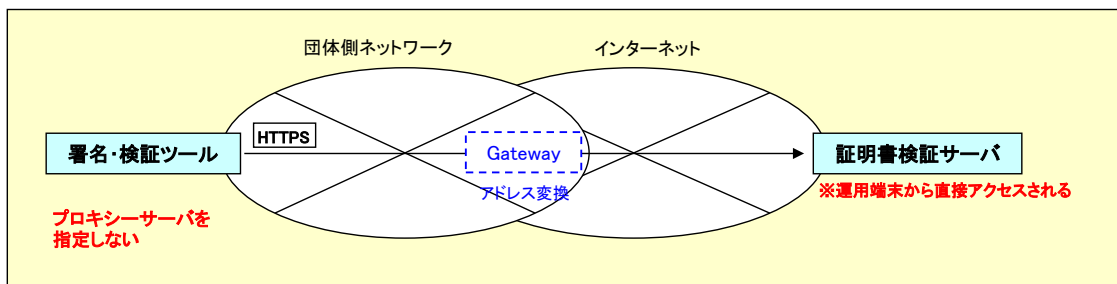
団体側で管理されるプロキシサーバ(上記例ではProxy2)にて、証明書検証サーバへのアクセスは直接接続する設定に変更して下さい。その後、アクセス元となるプロキシサーバ(上記例ではProxy2)のインターネット上でのアドレスを記入して下さい。Proxy2が複数台で運用されている場合は、複数のアドレスを;(セミコロン)で区切って記入して下さい。
 ※署名・検証ツールの設定では、プロキシサーバにProxy1を指定することになります。

■都道府県NOC (Network Operations Center) を介してインターネット接続されている場合



このケースでは都道府県のプロキシサーバが証明書検証サーバのアクセス元ですので、都道府県からの一括申請となります。詳細は都道府県の担当者にご確認下さい。
 ※署名・検証ツールの設定では、プロキシサーバにProxy1を指定することになります。

■プロキシサーバを介さない場合



このケースではプロキシサーバを介しませんので、(アドレス変換された)運用端末のインターネット上でのアドレスを記入して下さい。
 ※署名・検証ツールの設定では、プロキシサーバを指定しないで下さい。